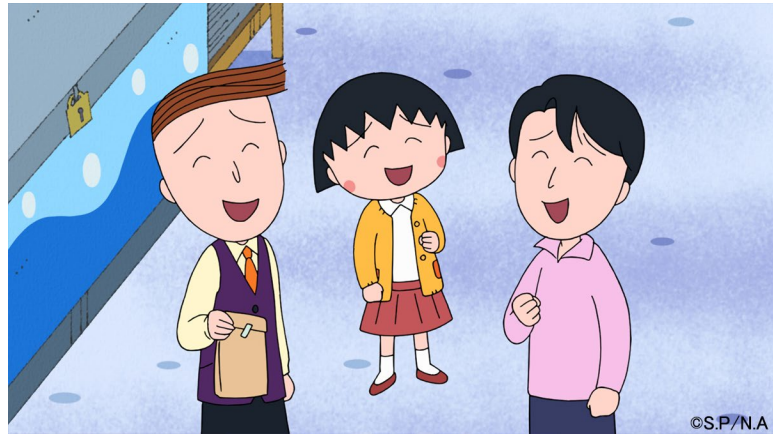


## News Release

# 『ちびまる子ちゃん』 3月は4週連続で豪華ゲスト声優まつり！ 浜口京子さん・及川光博さんのコメントが到着！

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)がアニメーションの制作・ライセンス管理を行う『ちびまる子ちゃん』では、3月5日(日)の放送から3月26日(日)の放送まで、4週にわたり「春が来た!花咲くゲスト声優まつり」をお送りします。今回ゲスト声優として参加するのは、芳根京子さん、みやぞんさん、浜口京子さん、及川光博さんの4人。

このたび、『ちびまる子ちゃん』のアフレコに初めて参加した浜口さん(3月19日(日)出演)と及川さん(3月26日(日)出演)からのコメントが到着!また、2人が演じるキャラクターのビジュアルも解禁となりました。



## ◆浜口京子さんは、レスリングで金メダルを目指すお姉さん役に!

浜口さんが演じるのは、3月19日(日)放送の『まる子、気合いを入れる』の巻に登場する、空き地でトレーニングをするお姉さん。東京から来たというお姉さんは、偶然出会ったまる子に“レスリングでオリンピックの金メダルを取りたい”という夢を語り…。

浜口さんは、「まるちゃんと一緒に“気合いだー!”と叫ぶシーンがあって、感激でした。今回はまさに、まるちゃんに元気をもらったような感じです」とアフレコを振り返り、「まる子&京子の“気合いだー!”が、もう一踏ん張り頑張るときの活力や勇気の言葉として、全国の皆さんに届けばいいと思います」とコメントを寄せました。

## ◆及川光博さんは、花輪くんと意気投合する男の子・ミッチー役で出演!

さらに、及川さんが演じるのは、3月26日(日)放送の『花輪くんとミッチーとビー玉』の巻に登場する男の子・ミッチーこと愛川光真(あいかわ・みつまさ)。公園で悪ガキたちに絡まれていたところを花輪くんに助けられたミッチーは、花輪くんと意気投合。その週末、ミッチーはまる子やたまちゃん、みぎわさんと一緒に、花輪くんの家に遊びに行くことになり…。

演じた及川さんは「デビュー前のバンド活動で自分のキャラクター設定に迷っていた頃、花輪くんにヒントを頂きまして、“モテモテのキザなお坊ちゃんキャラ”でデビューできたんです。今の僕があるのは花輪くんのおかげ(笑)。そんな花輪くんと友達役として共演できるのは不思議な気持ちです。強い縁を感じましたね」と語りました。

毎週登場する豪華なゲスト声優たちが、まる子と家族や友達の暮らしの中に新しい風を吹き込む「春が来た!花咲くゲスト声優まつり」はいよいよ本日から放送です!ぜひご期待下さい!

## 【浜口京子さんコメント】



### ◆『ちびまる子ちゃん』への出演が決まったときの感想は？

「お話を頂いて、かつて女子レスリングがオリンピックの正式種目になることが決まったときと同じくらい、まるで人生が大きく変わるような喜びと驚きがありました。まるちゃんが持つ、出会った人やものごとに対する豊かな感受性と、学校やさくら家でのやりとりから感じる温かい雰囲気は、私自身にもどこか通じる部分があると思いました」

### ◆台本を読んでみての感想は？

「(今回演じた)お姉さんは夢に向かって頑張っていて、レスラー・浜口京子そのもののようなキャラクターだったので、すごくうれしかったです。まるちゃんと一緒に“気合いだー！”と叫ぶシーンがあって、感激でした。“気合い”というのは、“気と気を合わせる”ことで、エネルギーや元気が出るという意味だと考えているのですが、今回はまさに、まるちゃんに元気をもらったような感じです」

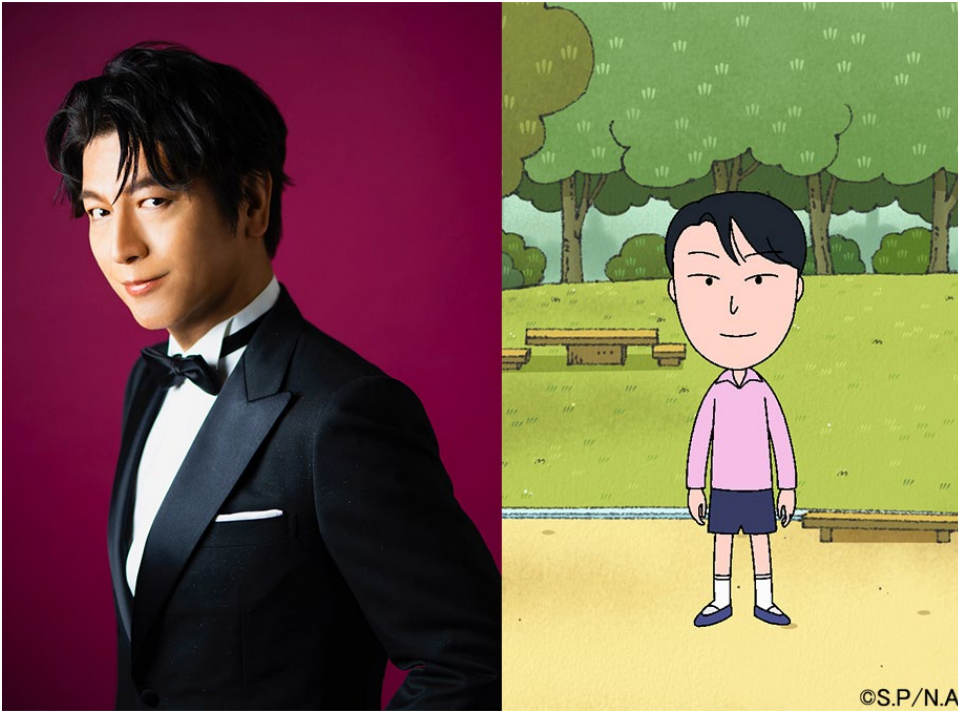
### ◆実際に演じてみていかがでしたか？

「スタッフの皆さんに“緊張しなくて大丈夫ですよ”とお声掛けいただいていたので、変に力を入れずにそのままの自分で臨みました。私は昔から“言葉”を大切にしている、レスリングの練習のときや試合前にも“言葉”から元気をもらうことが多かったので、アフレコのときにもその点は意識しました。まるちゃんたちのひとつひとつのセリフが温かくて、演じていて波長が合いました。正直なところ、まだ夢の中にいるような気持ちです」

### ◆視聴者の皆さんにメッセージをお願いします。

「まるちゃんと共演ができて、感動のひとつときでしたし、私の人生にとって素晴らしい経験になりました。日曜日の夕方の放送で、皆さんも翌日は学校だったり仕事だったり、それぞれいろいろな道で頑張っていると思います。まる子&京子の“気合いだー！”が、もう一踏ん張り頑張るときの活力や勇気の言葉として、全国の皆さんに届けばいいなと思います」

## 【及川光博さんコメント】



### ◆『ちびまる子ちゃん』への出演が決まったときの感想は？

「今回のお話を頂いて、まずびっくりしました。せっかくの機会ですし、人生の記念にと思ってお受けしたのですが、そのあとに台本を頂いたらまたびっくり。近所のお兄さん役とか花輪くんの親戚役で少し登場するくらいなのかなと思っていたのですが、しっかり出番があって、しかも小学生の役！正直、“これはしまった！”と思いました(笑)」

### ◆今回の役どころへの感想は？

「僕が演じる愛川光真くんは花輪くんと仲良くなるのですが、花輪くんは僕自身にとっても大切な存在なんです。30年近く前、デビュー前のバンド活動で自分のキャラクター設定に迷っていた頃、テレビで『ちびまる子ちゃん』を見て、“これだ！”と。花輪くんにヒントを頂きまして、“モテモテのキザなお坊ちゃんキャラ”でデビューできたんです。今の僕があるのは花輪くんのおかげ(笑)。そんな花輪くんと友達役として共演できるのは不思議な気持ちです。強い縁を感じましたね」

### ◆実際に演じてみていかがでしたか？

「“及川光博が小学生になったら”というイメージで演じました。余計な緊張をしないように心がけて楽しんで演じることができました。また、声だけのお芝居というのは特殊技術なのだなと、改めて声優のみなさんを尊敬しました。ちなみに僕は(劇中のセリフに登場する)“チャオ”という言葉が日本で一番多く口にしてきた男だと思うのですが、それにディレクションをされるとは思いませんでしたね(笑)。勉強になりました！」

### ◆視聴者の皆さんにメッセージをお願いします。

「(愛川光真は)まるでミッチーが40歳若返ったようなキャラクターです。そして、物語はほろっと泣けるヒューマンドラマになっているので、ご家族みなさんと、ノスタルジーを感じつつ、ほんのりと感動していただけたら幸いです。ぜひお楽しみに！」

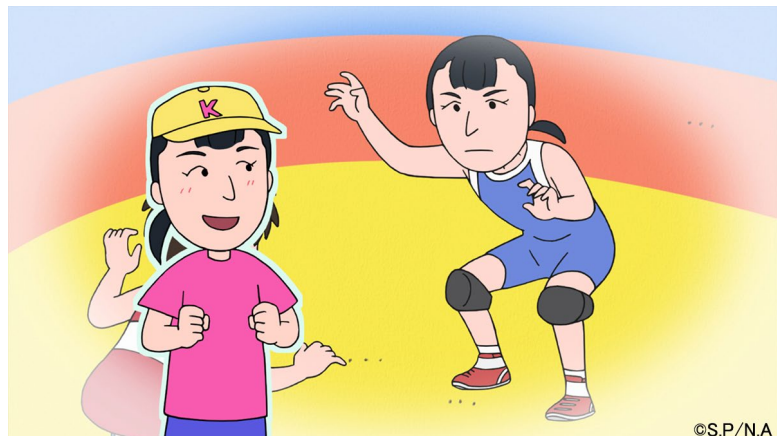
## 『春が来た！花咲くゲスト声優まつり』概要

<放送時間>

2023年3月5、12、19、26日(日) 18時～18時30分

<あらすじ>

【3月19日 1378話『まる子、気合いを入れる』の巻】



まだ寒い3月のある日、まる子は半そで半ズボン姿でスクワットをするお姉さんを見かける。その日の夕方、今度は、走るお姉さんとすれ違う。実は春休みの間だけ東京からおじいちゃんの仕事をお手伝いに来ているらしい。お手伝いの合間に、一生懸命練習をしていたのだ。将来、レスリングで金メダルを取りたいというお姉さんの夢を聞いて応援したくなったまる子はたまちゃんと一緒に、空き地で運動しているお姉さんに会いに行くのであった。

【3月26日 1379話『花輪くんとミッチーとビー玉』の巻】



桜が咲き始めた公園で、悪ガキに絡まれたミッチーという男の子を助けてあげた花輪くん。どこか雰囲気似た二人は意気投合し、今度の日曜日にみんなで花輪くんの家に遊びに行くことになった。花輪くんがバイオリン演奏をしている傍らで、優雅にピアノ演奏をするミッチー。ミッチーの夢は、おじいさんの遺志を継いで、ピアニストになることだと言う。新しい友達が出来てうれしい花輪くんであったが、そんなある日…。

## <番組概要>

### ■タイトル

『ちびまる子ちゃん』

### ■放送日時

フジテレビ系列にて 毎週(日) 18時～18時30分放送

### ■キャスト

まる子(声:TARAKO)  
お父さん(声:屋良有作)  
お母さん(声:一龍斎貞友)  
おじいちゃん(声:島田 敏)  
おばあちゃん(声:佐々木優子)  
お姉ちゃん(声:豊嶋真千子)  
他

### ■スタッフ

原作:さくらももこ  
脚本・制作協力:多田弘子(さくらプロダクション)  
プロデューサー:福山晋司(フジテレビ)、田中伸明(日本アニメーション)  
監督:高木 淳(日本アニメーション)  
制作:フジテレビ、日本アニメーション

公式サイト [https://www.fujitv.co.jp/b\\_hp/maruko/](https://www.fujitv.co.jp/b_hp/maruko/)

ちびまる子ちゃん公式サイト <https://www.chibimaru.tv/>

公式Twitter [https://twitter.com/tweet\\_maruko](https://twitter.com/tweet_maruko)

## 参考資料

### 『ちびまる子ちゃん』について

「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくらももこ)と、家族や友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。1986年に『りぼん』(集英社)で連載を開始し、2021年に原作35周年を迎えました。原作コミックスは全18巻が発売中。発行部数は累計3,250万部を突破(デジタル版を含む)、海外版はアジア各国でも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中華圏をはじめとする海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

## <本件に関するお問い合わせ先>

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当:村岡

電話:080-1250-4046 E-mail:muraoka@nippon-animation.co.jp

※画像掲載の際は画像下部に記載のコピーライトをご使用いただきますようお願い申し上げます。

©さくらプロダクション/日本アニメーション